

## 1. 計画の目的

油ヶ淵は、愛知県中央南部の碧南市と安城市の境に位置する本県唯一の天然湖沼ですが、流域における都市化の進行や水域の閉鎖性により、水質の汚濁が著しく、1970(昭和 45)年に環境基準が指定されて以来、常に基準値(湖沼 B 類型: COD (化学的酸素要求量) 5mg/L 以下)を大幅に上回っている状況にありました。

この対策として、段階的な水質改善目標値として 2000(平成 12)年度における COD (75%値) 8mg/L を目標とした「油ヶ淵水環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンス 21)」(以下「清流ルネッサンス 21」という。)を 1994(平成 6)年に策定し、流域 4 市(碧南市、安城市、西尾市、高浜市)と愛知県が一体となって総合的な水質改善対策を実施しました。この結果、水質は徐々に改善しましたが、2000(平成 12)年度の水質は COD (75%値) 9.3mg/L と依然として環境基準及び計画目標とした水質を上回っていたことから、流域の水質汚濁要因を検証し、新たな浄化施策を加えるなど、流域の水質改善に関係各機関が引き続き連携・協力して実施する取り組みが必要となりました。

このような状況を踏まえ、油ヶ淵流域における人と水生生物等が共生できる望ましい湖沼・河川環境の創出を図るため、2010(平成 22)年度までを計画期間とする行動計画(河川事業、下水道事業、その他の事業)として、2004(平成 16)年 11 月に「高浜川水系 油ヶ淵水環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンスⅡ)」(以下「清流ルネッサンスⅡ」という。)を策定し、目標水質を COD (75%値) 8mg/L 以下、底層 DO (溶存酸素量) 3mg/L 以上、にごり(透視度) 30cm 以上に設定しました。その後、水環境改善事業を実施するとともに、水環境モニタリングなど、行政機関だけでなく、地域住民、NPO 等が一体となって水環境改善に取り組んできた結果、2008(平成 20)年度以降は、COD (75%値) が 8mg/L 以下に改善され、COD の目標水質を達成しました。

2011(平成 23)年 5 月には「清流ルネッサンスⅡ」を改訂(以下「清流ルネッサンスⅡ改訂」という。)し、2020(令和 2)年度までを計画期間として目標水質 COD (75%値) を 6mg/L 以下に新たに設定し、引き続き底層 DO (溶存酸素量) 3mg/L 以上、にごり(透視度) 30cm 以上に設定しました。現在、関係機関が連携し、水環境改善に取り組んでおりますが、2020(令和 2)年度までに目標水質の達成には到っていない状況です。

以上のことから、本計画は、目標水質や環境基準の達成に向け、引き続き関係機関が連携し、水環境改善に取り組むための行動計画を立案するものです。

